

事業名 : 小佐地区自然環境改善プロジェクト

団体名 : 椿色区

1 事業内容

日時 令和6年8月14日(水)

場所 椿色公会堂周辺

内容 魚のつかみ取りと魚釣り

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
7月28日	自伐型林業の概要	椿色区公会堂	20人
8月14日	①環境学習 ②魚つかみと魚釣り	椿色区公会堂 椿色区公会堂周辺	15人 100人
8月25日	自伐型林業の実施方法	椿色区公会堂	15人
9月10日	今年度活動総括会議	椿色区公会堂	7人
10月8日	実績報告書作成1	椿色区公会堂	7人
11月12日	実績報告書作成2	椿色区公会堂	7人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

昨年に立ち上げた地区内の実行委員会的な組織が今回は、更にスムーズに機能した。地区内の若者は、やる事が分かっているため積極的に動きどんどん準備等を進めている姿があった。

事前に会議で分担するチームを決め、スタッフリーダーを決めてリーダーに任せたので、準備や後片付けなどは短時間で完了した。

地区内の人口は減少しているが、高齢者の人口が減少しているだけで、若者は何とか維持できている。その若者が地区の未来をどうしたらいいか…という課題について真剣に考え始めている部分も見受けられる。

(2) 地域への波及

今年は、多くの活動を「小佐地区」住民なら誰でも参加できるように幅を広げた。特に中山間地域としての小佐地区は、抱える課題や悩みの共通点は非常に多い。人口減少や高齢化率の上昇という目に見える課題だけでなく、山＝森林の管理や河川の管理など中長期的に取り組まないといけない課題が山積している。今回、会場に集まった小佐地区の人々は何らかの危機感や課題を持っている人が多かったため、「自伐型林業研修」などは非常に盛り上がった研修会となった。この波を大きな流れに変えていきたい。

3 協働の相手方

小佐自治協議会で協働：小佐地区共通の課題解決のために、山＝森林、川＝環境学習を進める。
環境プランナーの林 徹氏と協働：小佐川の護岸環境を整え、全域を「ホテルの里」にする。
自伐林業家の上垣林業との協働：森林組合等の皆伐林業ではなく、長期間の自伐林業を進める。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

椿色区だけでなく小佐地区全体の問題を解決していく、幅広い視点を持つ人材を育てていく事を考えないといけない。そのためにも「小佐地区自治協議会」と協力しながら今後の方向性のベクトルを合わせないといけない。今までは、どうしても9地区ある過去の区分の枠を意識した活動となりやすいが、そうではなく『小佐地区は一つ』というカテゴリーで物事に取り組んでいくような方向性が必要である。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

環境プランナー林 徹氏の「神戸の街づくり」を参考に「小佐地区のまちづくり」を進めていきたい。まず、旧小佐小学校の建物・校地全体を活用し、ここを拠点にしたまちづくり計画を進めていく。今は廃校となっているが、「学校」はやはり地区の宝である。ここは多くの人が学び舎として思い出と出会える場である。ふるさと愛を育むことが地区再生のポイントだと思う。



6年7月28日 第1回自伐型林業研修会



6年8月14日 林徹講師自然環境学習会1



6年8月14日 魚と遊ぼう自然環境学習会2



6年8月25日 第2回自伐型林業研修会